

姉妹都市提携五周年を記念して

ブラジルから少年少女による

親善使節団一行が来市

昨年七月三日から六日までの四日間、ブラジル日語学校連合会長下本八郎氏を団長とする日伯親善少年少女交歓使節団一行二十五名が来訪されましたので、当市における交流の様子を紹介いたします。

使節団の来日は、一九八〇年に第一回が実施されて以来今回で第四回を数え、これまでわが国の主要都市に於てブラジル日語学校児童生徒の作品展を開いたり、交流会を通じて日伯の友好親善に多くの成果を上げてこられました。

昨年、中津川市とレジストロ市が姉妹都市の盟約を交わしてから五周年を迎えた年であり、その記念事業として協会主催による歓迎行事を行うことにいたしました。

一行は、ブラジル国サンパウロ州の日語学校に学ぶ十二歳から十九歳までの少女で（うちレジストロ市から六名が来日）、七月三日午後二時に中津川駅で第一中学校生徒のブラズバンド演奏のなかを、小池市長をはじめ大勢の市民の皆さんの出迎えを受けた後、レジストロ通りを通じて文

化会館での歓迎式典に臨み、式典では、まず小池市長が「ブラジルとは地球の反対側にあたる遠い中津川市へようこそおいで下さいました。あなたがたの祖先の日本の姿を良く見て帰って下さい。」と歓迎のあいさつを述べました。

この後少年少女は、ホームステイによる生活体験学習のため2、3名に分れてそれぞれ受け入れに協力して下さいました青年会議所会員の皆様のお宅へと向いました。

翌四日は、中津川コミュニティセンターにおいて第二中学校生徒五〇名余りと共にブラジル日語学校の児童生徒による作品展（絵画、習字等約三四〇点）のテープカット式を行い、ブラジルの子供達の作品と、同時に開催された中津川市民展の出品作と一緒に鑑賞しながらお互いに親交を

深め合っていました。引き続き三菱電機中津川製作所の工場見学を行いました。案内していただいた流し作業や、産業用ロボットに感嘆の声をあげていました。その後、中津川上流の尾ヶ岩でまず釣りを楽しみましたが、初めて釣りをする子供がほとんどで釣れるたびに歓声が聞かれました。そして丸山協会長をはじめ当市からブラジルを訪問した方々と一緒に五平餅やます料理を美味しく頂きました。

七月五日は、坂本中学校生徒との交流会に臨み、それぞれクラスの員として授業に参加して友達の輪を広げました。また、この日に開催された「中津川少年の主張大会」を見学して、生徒の意見発表に終始熱心に耳を傾けていました。午後はスポーツ交流により、男子はサッカー、女子はバレーボールとそれぞれ親善試合を行い、僅かの間にすっかり親しくなった友達との別れを惜しみながら同校をあとにしました。

夜は、ホームステイ主催による家族の皆さんと一緒に晩さん会が開催され、子供達による舞や歌等の催しにより楽しい一夜を過ごしました。



文化会館での歓迎式典においてサンパウロ市長のメッセージを朗読する下本団長 右側は卓末副団長



苗木夜明けの森での記念植樹



友好の碑の前で



坂本中学校における歓迎会



中津川コミュニティセンターにおける作品展のテープカット

七月六日は早やお別れの日です。中津川駅において多くの市民の見送る中で送別のセレモニーが行われ、下本団長から「中津川市滞在中はたいへんお世話になりました。皆さんに親切にしてくださいましたことを深く感謝しています。中津川市民の皆さんも両国の友好親善促進のため是非ブラジルへ来て下さい。」とあいさつがありました。

一行はお世話になったご家族の皆さんをはじめ、関係者との別れを惜しみながら次の訪問地岡山市へと中津川をあとにしました。

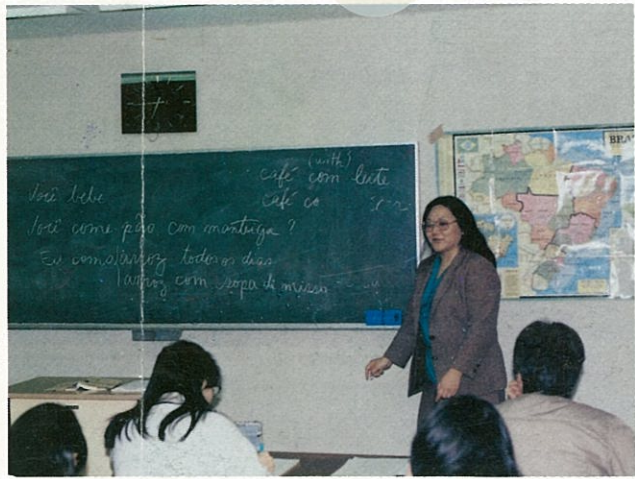
念植樹を行いました。この地は今から四年前にジョセ・デ・カリヴァーリョ前レジストロ市長一行が来市されたのを記念してレジストロ公園と命名されたところで、同時に建立された「友好の碑」や、大きく育った記念樹を感慨深げに見入っていました。

引き続き苗木の奥恵那峡口から高速ジェット船に乗船して恵那峡まで木曾川遊船を楽しみ、見事な岩肌を食い入るようにつめていました。

ブラジルに親しむ会講座開設

協会では、昨年十一月から十二月にかけての六日間に二年前から行っているもに亘り、毎週火曜日の午後六時から九時まで、中津公民館に於て第三回ブラジルに親しむ会の講座を開設しました。

この講座は、姉妹都市レジストロをはじめブラジル活では、ブラジルの歴史、



中津公民館における授業の様子 正面は三浦講師

に対する理解を深めるため、最近の情勢等をビデオや映画を使ってお話ししていただきました。

また第二部のポルトガル語講座では、簡単な日常会話ができるような勉強をしました。

受講生の皆さんは、先生の

お礼の手紙とどく

日伯親善少女交歓使節一行は、わが国での全日程を終え八月二日に帰国の途に着きました。今回の使節一行二十五名の中には、レジストロの生徒が六名含まれており、五周年記念事業として意義深いものとなりました。現地からお礼の便りが多数寄せられておりますのでここにその一部を紹介いたします。

お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。去る八月七日エルザ・オルジーニ・デ・カルヴァーリヨレジストロ市長や隅田日本人会長等と中津川市を訪問した生徒六名が集まり

の気さくな人柄もあって和やかな中にも終始熱心に取り組んでいました。

最終日は、先生の指導によりブラジル料理を作った本場の味に親しむなど好評のうちに終了しました。

来年度以降も開設する予定です。多勢の人に参加していただきたいと思っております。

嬉しい事は訪日した六名の生徒の日本語に対する気持ちが変った事が何よりです。本日の日本語を日本で味わった事は非常に有意義だったと思います。将来必ず役立つものと思います。

ゆくゆくはこの子供達に日伯の掛け橋になってもらいたいものです。

これから先友人はじめホームステイでお世話になった人達と文通等によっていつまでも交流が続く事を希望しています。

小池市長が当市を訪問された時に云われたように姉妹提携の火がいつまでも燃

上田 晋さん 元気に帰国

スティック片手にブラジルに渡り、レジストロ市を中心に八十五日間にわたりゲートボールを通じて日伯友好親善のため活躍された市内落合会社役員上田晋さん(八十二才)が市役所を訪れ、小池市長に帰朝報告をされました。

上田さんはサンパウロ市「コメンダドル勲章」の日伯毎日新聞社に勤める三男、鉄三さんを訪ねて昨年十一月ブラジルに渡ったもので、系八十八万の中、これまでに贈られた人ははいないそのチャンピオンなど紹介されたことから、日系人のお年寄りチームなどに指導者として招かれるなど引張り風となりました。

そして、ゲートボール使節として、日伯親善大会の約束を交わしたと云われる上田さんは、「これからは命ある限り日伯友好のため協力したい」と元氣いっぱい話してくれました。

昭和六十一年度の「会員募集」

協会ではたゞいま昭和六十一年度の会員を募集しています。

個人 一口 一千元
法人 一口 一万円
団体 一口 五千元

申し込み用紙は市役所一階案内及び各支所と、市内金融機関の窓口にて備えてあります。

TEL 六一一一一 内線 三〇七

「ブラジルに親しむ会」講座に参加して

以前、新聞にポルトガル語講座開催の記事が載っていました。

中津川市とブラジルのレジストロ市が姉妹都市提携を結んだことを契機に開かれる講座です。

私は、日本とは地球の裏側に位置するブラジルに興味を持っていましたし、何か新しいことに挑戦してみたいと思っていましたので迷わず申し込みました。

二ヶ月で六回の講座でしたが、主婦にとっては六時半からの開講はなかなかたいへんでした。

夕ごはんの仕度をして自分だけ先に食べ、三人の子供に「夕ごはんのおかずは

これとこれ、おりこうにしていてね」と口をぐもぐもさせ、息を弾ませての登校(笑)でした。でも、教室に入れば全神経を集中させ先生の美しい声から発せられるポルトガル語に接した喜びは非常に大きなものでした。

スペイン語に極めて近いポルトガル語は、「コモエスタ、セニョール・コモエスタ、セニョリタ」(ごきげんいかが?)くらいしか知りませんでした。今までの習った英語、タイ語とも違ってなかなか魅力的な響きでした。

六回の講座は非常に高度な文法と会話とで、あっという間に終わってしまいました。

この夢もまた果てしなく遠いものになりそうです。

西戸 妙子



三浦マリエ講師の話に熱心に身を傾ける受講生のみなさん

え続く事を願ってやみませ

レジストロ日語学校としても出来る限り協力していくつもりです。

目下我々の課題としてブラジル日語学校生徒を日本の家庭で一定期間(夏休み、冬休み)生活させる事を計画中です。

このことはレジストロ市長、隅田会長にも話しました。もし可能ならば両市の生徒を相互に交換するような運びになればいいなと思っています。

市長はじめ皆様のご健康をお祈り申し上げます。

レジストロ日語学校長 馬場 康二

昭和六十一年度の「会員募集」

協会ではたゞいま昭和六十一年度の会員を募集しています。

個人 一口 一千元
法人 一口 一万円
団体 一口 五千元

申し込み用紙は市役所一階案内及び各支所と、市内金融機関の窓口にて備えてあります。

TEL 六一一一一 内線 三〇七



小池市長にレジストロ市長からのメッセージを手渡す上田さん

昭和六十一年度の「お知らせ」

◎六月二十日 レジストロ市の高橋國彦氏(現任わが国留学中) 来庁。

◎六月二十六日 理事会において昭和五十九年度決算の承認と、本年度事業、予算が決定される。

◎七月三日～七月六日 中津川市とレジストロ市の姉妹都市提携を記念した第四回ブラジル児童展の開催と、ブラジル日語学校生徒による交歓使節一行二十五名来市。

◎八月二十日～九月一日 岐阜県が主催する岐伯親善交流派遣団一行五名(市内瀬戸石原はなえさん参加)が渡伯、レジストロ市を訪問して盛大な歓迎をうける。

◎八月二十七日 レジストロ市長四十名にクリスマスカード発送。

お知らせ

姉妹都市事業についての「意見」ご希望をお寄せ下さい。

事務局 中津川市役所秘書課
TEL 六一一一一(内線三〇七)